

平成27年度

ステップアップ

* 学習の手引き *



3 年 組 番	氏名
---------	----

この学習の手引きは、授業の受け方・家庭学習の勉強の仕方・テストに向けての勉強の仕方や各教科の学習内容や評価の方法について、皆さんにお知らせするものです。

学習の手引きを利用して、学習計画をたてると、見通しをもって学習に取り組むことができます。

大いにこの学習の手引きを活用して、自分自身をステップアップできるように、役立ててください。



授業の受け方

1 はじめに

- (1) 教科書・ノート・ワーク等を机の上に準備しておきましょう。
- (2) 教科係は授業が始まる前に諸準備を整え、連絡等を伝えましょう。
- (3) 号令の前にノートを開き、前時にどんなことを学習したのか確認しましょう。

2 学習のポイントをしっかりとつかもう

- (1) 先生の説明や仲間が発表しているときは、話をしている人のほうを見て聞きましょう。
- (2) 黒板に書かれたことで大切なことは、ノートに書きましょう。また、口頭による説明などもノートに書いておくと復習の時に役立ちます。
- (3) 分からないことは積極的に質問しましょう。「後で調べればいいや」「後で誰かに聞こう」と何でも「後で」にしてしまうと、理解していないまま授業を受けることになり、よけいに分かりづらくなります。

3 おわりに

- (1) 今日の学習を振り返り、重要点と課題の確認をしましょう。
- (2) 号令の後、次の授業の準備をしてから休憩しましょう。

4 チェックポイント

- (1) 授業に必要なもの（教科書・ノート・資料・筆記用具等）の準備はできていますか。
- (2) 宿題は家できちんと行っていますか。
- (3) 授業中に、おしゃべりなどしていませんか。
理解不十分なところを質問していますか。
- (4) ノート整理がなされていますか。

授 業 は

- ・ まちがうところ
 - ・ 気づくところ
 - ・ わかるところ

学カステップアップ (～授業編～)

授業＋家庭学習＝学力向上

国語

- 漢字・語句ノートをしっかり行い、わからない漢字や語句をなくしてから授業に臨みましょう。
- 授業に必要な学習用具を忘れずに準備しましょう。
- 「話すとき」「書くとき」「聞くとき」「考えるとき」の区別をしっかりつけ、授業に集中して取り組みましょう。
- 友達の発表を聞いて、自分の考えを深めるようにしましょう。
- ノートは、板書を写すのではなく、自分でポイントを絞ってわかりやすく創りましょう。
- わからないところは、質問してわかるようにしましょう。

社会

- グラフ・図・地図など、一通り必ず目を通して、特徴や変化に注目しましょう。
- 疑問に思ったことは、すぐに質問しましょう。
- 友達の発表をよく聞き、自分と違う点から、いろいろな考え方・見方をつかみましょう。
- 聞く、書く、考える等の学習の区別をして取り組みましょう。
(書きながら聞くことは難しいです。)

理科

- 自然について、疑問や不思議だと思ったり、感動する心を持ち続けましょう。
- 自分で考え、間違いをおそれずに発表しましょう。発表することは自分の頭を鍛えてくれます。
- 積極的に実験や観察に取り組みましょう。その後、実験・観察をレポートにまとめることで、わかったこと・更なる疑問をはっきりさせることができます。
- 基本操作や重要な語句は、必ずノートにまとめましょう。
また、単元の区切りには章末問題などに取り組み、知識を確かなものにしましょう。

数学

- ◎授業を大切にしましょう。
- 「チャイム1分前着席」を守り、5分の計算プリントに取り組みましょう。
- 学習用具を忘れずに準備しましょう。
(教科書・ノート・問題集・ファイル・三角定規・コンパスなど)
- 先生の説明や友達の発表は注意深く聞きましょう。
- 自分の考えは積極的に発表しましょう。また、疑問に思ったことやわからないことは質問しましょう。
- ノートをわかりやすく丁寧にまとめましょう。
- 配られたプリントやテストは、すぐにファイルにとじたり、ノートに貼りましょう。
- 提出物は期限を守って提出しましょう。

英語

- 英語に関心をもち、積極的にコミュニケーション活動に取り組みましょう。
- 英語を用いて、自分の考えや気持ちなど、伝えたいことを話したり書いたりして表現しましょう。
- 英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えようとすることを理解しましょう。

音楽

- 学習用具を忘れずに準備しましょう。
(教科書・合唱ノート・学習ファイル・ソプラノリコーダー)
- いろいろな音楽に触れ、想い、創り、奏で、興味を持って取り組み、心を豊かにしましょう。
- 表現活動(歌唱・器楽)、鑑賞活動、創作活動を通して自分を表現しましょう。
- 友達と心を一つにして曲を作りあげましょう。



美術

- 描画用の鉛筆やスケッチブック等、連絡した持ち物を必ず持ってきてきましょう。必要なものがないと活動ができなくなってしまいます。
- いろいろなことに興味を持って取り組みましょう。友達と違ったアイデアが出せことは素晴らしいことです。自信を持って表現しましょう。
- 自分らしい作品を作りましょう。自分の「好き」を大事にしましょう。
- 友達の表現(作品)のよいところを見つけられるように心がけましょう。
- 作品はていねいに作り、自分の作品も友達の作品も大事にしましょう。

保健体育

- 今日の健康状況を確認してから授業に臨みましょう。
- 服装・頭髪など、身なりをしっかりと整えましょう。
- 用具や活動場所の安全を確認し、活動しましょう。
- 自分の学習課題をしっかりと持って授業に臨みましょう。
- 目標達成に向け、みんなで協力して取り組みましょう。
- 時間前に活動場所へ移動しましょう。
- ランニングや準備運動をしっかりと行いましょう。

技術・家庭

- 「各自の目標を達成するにはどうしたらよいか」という意識をもって学習に取り組みましょう。
- 授業では作品づくりや実習などの作業を通して、学習活動で生じた課題の解決に迫ります。学習した内容をどんどん使うことが自分の技術力を身につけることにつながります。
- 学習用具を忘れずに準備しましょう。
(教科書・技術科ファイル・家庭科ノート)
- 技術科：技術室の時はジャージで行います。
- 家庭科：調理実習時には、エプロン・三角巾・マスク・手拭きタオル・雑巾・調理に必要な材料を準備しましょう。

学カステップアップ (〜家庭学習編〜)

授業＋家庭学習＝学力向上

家庭学習の基本 ふ・か・ま・り

- ☐ 復習を中心に少しずつでも毎日！
～その日の授業のノートを開いて再確認～
- ☐ 書いて、声に出して、繰り返し練習！
～五感を最大限に使って、脳に刺激を～
- ☐ 丸暗記ではなく、納得が大事！
～「なるほど！そうか！」が記憶につながる～
- ☐ 理解するまでじっくりと！
～考えてわからなければ、質問しよう～

国語

- 教科書をしっかり読めるか確認する。
- わからない語句がないか確認する。
- 漢字の書き取りを繰り返し練習する。
- ノートの整理をする。
- ワークの問題を解き直す。
- 古典はできるだけ暗記する。
- ※さらに力を高めるには、様々な文章に触れましょう。これは、自らの意識が必要です。さあ！ がんばろう！！

社会

- その日の授業の内容を思い出しながらノートやワークシートを振り返る。
- 太文字や赤字の大切なごきは、覚えるまで繰り返し書く。
- 頭の中でどんな状況なのかをイメージしながら教科書を読む。
- 地名が出てきたら必ず地図で場所をチェックする。
- 自分なりに学習した内容をまとめる。
- キーワード（重要語句）を自分の言葉で説明できるようにする。（キーワード同士のつながりがつかめます）
- ※社会科はイメージすることが大切です。文章から、地図からイメージしよう！

効果的な学習 5ヶ条

- 1 集中して学習！毎日継続！（15分×学年）
- 2 習慣化 ～時間と場所を決めて～
- 3 計画的に
- 4 自分で学習
- 5 復習はその日のうちに！！
予習は短時間で効果的に！！

数学

- STEP 1 数学が苦手の人・何をしてもいいのかわからない人
○教科書、ワーク、問題集の計算問題を解く。
- STEP 2 計算はだいたいできる人
○「ちょっと難しいな」と思う程度の問題にじっくり取り組む。
- STEP 3 得意な人、さらにレベルアップしたい人
○問題の数をこなすと同時に、難問にもチャレンジする。

理科

- 教科書の基本的な内容を覚える。
用語とその意味：セットで覚える。
実験の方法：使う道具・薬品・注意事項
図表やグラフ：位置や名称、数値からわかる規則性
- 問題は難解も繰り返し、3回以上取り組む。
- 教科書の文章を理解できるまで読む。
※教科書を読んで内容がわからない時は、まだ理解していない証拠。そこをチェックして先生に質問しよう！

英語

- ノートに英文を書き、単語の意味を調べ、授業の予習をする。
- 基本文や新出単語を繰り返し書いて覚える。
- 教科書を毎日声を出して読む。
※身の回りには英語があふれています。関心をもとう！英語は楽しい！使える！という意欲をもとう！

学カステップアップ (〜テスト編〜)

テスト勉強の基本

- (1) 範囲発表〜 テスト範囲を確認し、教科書に範囲を書き込む。ここで具体的な勉強計画をたてる。
- (2) 2週間前〜 教科書の太文字やノートの赤字などを繰り返し書く。
- (3) 1週間前〜 範囲内の教科書を読み直し、ワークに取り組んで、まるつけをする。
- (4) 3日前〜 ワークにもう一度取り組み、できなかったところは覚えるまで書いて練習する。
- (5) 前日〜 最終確認。教科書やワーク等を見直し、不安なところを中心に、学習し直す。
- (6) 当日〜 朝の時間や10分休みに友達と問題を出し合って最終チェック！テスト中は集中して絶対にあきらめない！

STEP 1 教科書こそが原点と心得よ！

STEP 2 ワークを繰り返すと実力アップ！

STEP 3 計画的な学習・規則正しい生活が本物の力を生む！

国語

- 教科書を表現に沿ってしっかり読む。
- 語句が文脈の中でどう使われているか考え、意味を調べる。
- ノートをもう一度読み、書いてあることを見直す。
- ワークの問題は覚えるくらいまで復習する。
- 漢字は書いて覚える。
- ※古典や文法など、暗記ができるものは、覚えよう。
- ※復習あるのみ！ がんばってみよう！

社会

- ワークに取り組む自分でまるつけをする。
- ワークで間違えたところを繰り返し、覚えるまで書いて練習する。
- グラフ・図・地図などに気をつけながら、教科書を読み直す。
- 教科書の太字やワークシートの重要な語句を写し、何度も書いて覚える。
- ※特に社会は努力が点数につながりやすいぞ！ 逆に手を抜いたら・・・

数学

- できるだけ多くの問題を解き、その都度まるつけをして、間違えたところを確認する。
- よく間違えるところ、理解していないところを重点的に取り組む。
- 教科書、問題集の問題は必ず一通りやる。
- わからないところは先生に質問に行く。
- ☆すてきな情報が得られるかも！
- ※「あっ、前にやったのと同じ問題だ！」と思えるまでひたすら解きまくろう！

理科

- 問題（自主学習や補充問題など）を何度も解いて、学習内容を徹底的に定着させる。
- 計算や記述問題は、できるようになるまで、繰り返しやる。
- いくら考えてもわからないものは解答・解説を見ても構わないが、それで終わらせない。自分で解けるようになるまで徹底的にやる。
- ※毎日の家庭学習の積み重ねこそが、最良のテスト勉強です。

英語

- 授業後にわからなかったことをそのままにしない。（単語の発音、意味など）
- 教科書・重要表現の音読と書き取りを繰り返し行う。
- ノート、ワーク、プリントを何度も繰り返して練習する。
- ※テストの直後が肝心！ 答案が返されたら必ずやり直して理解できるようにし、次の準備をしよう！

3年 国語科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	国語への関心を深め、国語を尊重し進んで表現・理解するとともに伝え合おうとする。	○授業に取り組む態度（発表や質問など） ○課題の提出状況とその内容 ○既習内容を発表させようとする意欲
2	自分の考えを目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発言の仕方とそれに対する応答
3	自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて文章に書く。	○定期テスト、単元テスト ○作文、感想文、伝えたいことをわかりやすく記述したレポート
4	目的に応じ、様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発言内容 ○ノートの記述内容
5	言葉の働きや意味を理解し知識を身につけている。書写では文字を正しく整えて速く書く。	○定期テスト、単元テスト ○音読、朗読 ○漢字、語句の適切な活用 ○手書き文字（硬筆・毛筆）

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
文学的文章	<ul style="list-style-type: none"> 作品を読み味わい、登場人物の生き方から自分なりの意見を持つことができる。 登場人物の生き方から、人の優しさや気持ちについて考え表現できる。 登場人物を取り巻く状況や時代背景を考えながら、社会と人間との関わりを読み取ることができる。 作品の特徴を生かして朗読することができる。 	観点2 観点3 観点4 観点5
説明的文章	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えをもとに自分の考えを深め、自分なりの意見を持つことができる。 論理の展開をとらえ、自分なりの問題意識を持ち表現することができる。 筆者の考えをもとに考えを深め、根拠に注目し論理の展開をとらえることができる。 言葉の意味を理解し、文章表現をより確かなものにすることができる。 	観点2 観点3 観点4 観点5
古 典	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景や作者のものの見方や感じ方を読み取り、昔の人の考えを読み取ることができる。 昔の人の考えを読み取り、作者の見方と自分の考え方の違いを、文章で書くことができる。 和歌に表れた昔の人の思いや情景や表現に注目し、生活・文化、ものの見方・考え方を現代と比較できる。 文語文の表現の仕方や文体の特徴に注意して古語の意味を理解し、言葉の響きや調子を味わう。 	観点2 観点3 観点4 観点5
韻 文	<ul style="list-style-type: none"> 作者の思いをとらえ、詩から想像する内容を発表し合うことができる。 表現に着目しながら、詩に流れている主題をとらえ、感じたことを書くことができる。 作者の思いが感じ取れる表現を指摘し、その思いが伝わるように読むことができる。 詩の特徴を生かし、声の大きさや読む速度、間の取り方を工夫して朗読できる。 	観点2 観点3 観点4 観点5
表 現	<ul style="list-style-type: none"> 相手に合わせて情報を再構成し、伝えたいことや考えを明確にしてわかりやすく書くことができる。 情報を正確に把握し、事実と意見を意識させ、分かりやすく話したり聞き取ったりできる。 話し合いを通して、テーマに対する自分の考えを深め、表現の参考にすることができる。 話や文章中の語彙に着目し、書き言葉・話し言葉に注意し、速度や音量、間の取り方に気をつけて話すことが出できる 	観点2 観点3 観点4 観点5
言語・漢字 文法・書写	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の特色や役割に就いて考え、発表し合える。言葉のニュアンスに注意し、発表し合える。 説明文や辞書、図書やインターネット等から必要な情報を探してまとめることができる。 相手、目的、場面に応じた言葉の知識を持ち、使うことができる。言葉の働きについて理解して活用できる。 学習した教育漢字を文章の中で使うことができる。また、生活の中で文字を正しく整えて速く書くことができる。 	観点2 観点3 観点4 観点5

（観点1は日常の学習活動により評価します。）

3年 社会科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚を持って責任を果たそうとする。	○授業に取り組む態度（発表や質問） ○課題（問題集、ノートなど）の提出状況 ○小テストへの取り組み
2	社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	○定期テスト、単元テスト ○ノートの記述内容や授業での発表内容
3	社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	○定期テスト、単元テスト ○ノートの記述内容や授業での発表内容
4	社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発表内容

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> 各戦争が起こった原因を、各国の社会の様子から考えることができる。 戦争の広がりや戦争の様子を史料から読み取り、戦争に対して自分の考えをもつことができる。 第一次世界大戦から太平洋戦争終結までの各国の動きや歴史的事象を説明できる。 	観点2 観点3 観点4
現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> 経済成長が社会におよぼした影響を考察できる。 グラフと写真資料から日本の国民生活が変化したことを説明できる。 戦後の日本に起こった出来事や用語の意味がわかる。 	観点2 観点3 観点4
わたしたちの生活と現代社会	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会を様々な角度からとらえ、自らの生活と関連づけて考え、国際社会における日本の役割を考察できる。 年表や写真などの資料から国際化のあらましを説明できる。 日本の発展の過程や国際社会での役割を身近な社会的事象と関連させて説明できる。 	観点2 観点3 観点4
人間の尊重と日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> 身近な社会生活の中の課題から、個人と社会の関わりを様々な視点から考察できる。 資料を選択し、役立つ情報を活用するとともに考察した過程をまとめたり、発表したりすることができる。 人権尊重の考え方を中心に、自由・権利・責任・義務などの基本を身に付けることができる。 	観点2 観点3 観点4
現代の民主政治と社会	<ul style="list-style-type: none"> 議会制民主主義の意義と現実の政治の課題について、多面的・多角的に考察できる。 政治に関する記事・法令・判例などを取捨選択し、学習に活用できる。 国会を中心とする民主政治の考え方、地方自治の考え方を理解し、国民の政治参加の重要性を説明できる。 	観点2 観点3 観点4
わたしたちの暮らしと経済	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動における消費者・生産者の様々な立場から多面的に考察できる。 消費生活や経済活動について、様々な情報手段を用いて自分の考えをまとめ、わかりやすく発表できる。 消費生活や経済活動の様子について、大まかなしくみを生活と密接な関わりから説明できる。 	観点2 観点3 観点4
地球社会とわたしたち	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の課題を世界平和・人類の福祉の増大について、様々な視点からよりよい社会のあり方について考察できる。 エネルギー問題や環境問題についての資料を様々な情報手段を用いて、自分の考えをまとめ、わかりやすく発表できる。 先進工業国と発展途上国のエネルギー・食料・環境問題などの解決のために果たす責任の重さを説明できる。 	観点2 観点3 観点4
よりよい社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を、地理的分野と歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現している。 持続可能な社会の形成するために解決すべき課題の探求を深めるにあたって、様々な資料を適切に収集、選択、活用している。 持続可能な社会の形成に向け社会三参画するにあたり、自然と環境、人権と平和、医療と保健などのテーマに関連した知識が基礎となることを理解するとともに、それらの知識を身に付けている。 	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

3年 数学科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	数学的な事柄に関心を持ち、その楽しさやよさを知り、進んで問題解決に活用しようとする。	○授業に取り組む態度(学習したことを使った発表や質問など) ○課題(問題集、ノート、ファイルなど)の提出状況
2	問題解決のために、数学的な見方や考え方を使い、筋道を立てて考える。	○定期テスト、単元テスト ○ノートの記述内容や授業での発表内容
3	正しく計算したり、票や式やグラフに表したり、図形の性質を調べたりする。	○定期テスト、単元テスト、計算プリント ○ノートの記述内容や授業での発表内容
4	用語・記号や公式・定理・法則などについて理解し、知識を身につけている。	○定期テスト、単元テスト ○授業での発表内容

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・式を目的に応じて変形したり、数量の関係を考察できる。 ・式の展開や因数分解が正しくできる。 ・式の展開や因数部迂回の意味やその利用について理解できる。 	観点2 観点3 観点4
平方根	<ul style="list-style-type: none"> ・平方根という新しい数について考察することができる。 ・混合を含んだ式の計算や変形が正しくできる。 ・平方根の意味・用語や表し方を理解できる。 	観点2 観点3 観点4
二次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式を利用して問題を解決することができる。 ・平方根の考えや因数分解を用いて二次方程式を解くことができる。 ・平方根の意味・用語や表し方を理解できる。 	観点2 観点3 観点4
関数 $y = a x^2$	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 $y = a x^2$ の変化や対応の様子・グラフについて考察できる。 ・関数 $y = a x^2$ を表や式・グラフに表すことができる。 ・関数 $y = a x^2$ の性質やグラフの特徴を理解できる。 	観点2 観点3 観点4
円の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角の定理を見だし、証明することができる。 ・円周角の定理を使って、角の大きさを求めることができる。 ・円周角の定理や弧と円周角の関係を理解できる。 	観点2 観点3 観点4
図形と相似	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の相似条件や既習の図形の性質を使い、相似の証明を通して考察することができる。 ・相似な図形の性質を使って、辺の長さや図形の面積や体積を、面積比・体積比を使って求めることができる。 ・相似な図形の性質を理解し、三角形の相似条件や用語の意味を理解できる。 	観点2 観点3 観点4
三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理を使って、図形の計量の仕方を説明することができる。 ・三平方の定理を利用して、辺の長さなどを求めることができる。 ・三平方の定理とその逆を使っての問題の求め方を理解できる。 	観点2 観点3 観点4
標本調査	<ul style="list-style-type: none"> ・調査の目的に応じて、どのように標本調査を行えばよいかを考察することができる。 ・手際よく標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ、わかりやすく説明することができる。 ・調査の目的に応じた調査の方法や抽出の仕方を理解することができる。 	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

3年 理科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法	
1	自然の事柄に関心を持ち、それらを生活に結びつけて考え、調べようとする。	○学習態度 ○ノート・ワーク	○実験の予想・感想 (ノート・発表など) ○長期休業中の課題
2	自然の事柄の中に問題を見つけ、観察・実験などから総合的に考え、表現する。	○定期テスト ○練習問題	○実験の考察 (レポート) ○データ処理・グラフ ○話し合い活動・発表
3	正しい操作方法で観察・実験を行い、記録する。	○定期テスト ○実験の記録 (レポート)	○観察・実験器具の操作
4	自然の事柄について、基本的な特徴や原理・法則などを理解し、知識を身につけている。	○定期テスト ○発表内容	○小テスト ○練習問題

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
運動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 物体の運動やエネルギーについて、日常生活と関連づけて見たり考えたりすることができる。 物体の運動やエネルギーに関する実験器具を的確に扱い、観察・実験を行いデータ処理ができる。 物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
細胞と生物の増え方	<ul style="list-style-type: none"> 細胞のつくりや生物のふえ方など観察・実験を通して考察することができる。 遺伝の規則性から遺伝の組み合わせを推測できる。 観察・実験器具を的確に扱い、観察・実験を行うことができる。 細胞のつくりや生物のふえ方、遺伝の規則性などを理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
物質と化学変化の利用	<ul style="list-style-type: none"> 物質と化学反応に関する事象の観察、実験を通して、物質と化学反応の利用について、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的に考察できる。 実験器具を的確に扱い、観察・実験を行うことができる。 物質と化学反応に関する事象の観察、実験を通して、物質と化学反応の利用について理解することができる。 原子の構造を理解し、主なイオン式を書くことができる。 	観点2 観点3 観点4
地球と宇宙	<ul style="list-style-type: none"> 身近な天体の観察を通して、地球の運動や太陽の特徴、太陽系について考察することができる。 観察・実験器具を的確に扱い、観察・実験を行うことができる。 身近な天体の観察を通して、地球の運動について太陽の特徴、太陽系について理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
自然と人間	<ul style="list-style-type: none"> 微生物のはたらきや自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解し、自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりすることができる。 観察器具を的確に使い、土の中の小動物や微生物を調べる観察・実験を行うことができる。 微生物のはたらきや自然界における生物相互の関係、自然界のつり合いについて理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
科学技術と人間の生活	<ul style="list-style-type: none"> 電気エネルギーをつくる方法やエネルギー利用の問題点を日常生活と関連づけて考察することができる。 エネルギーの有効利用について、自らの考えを表現できる。 発電に利用しているエネルギーには、さまざまなものがあることを理解することができる。 エネルギーの有効な利用が大切であることを理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
科学技術とわたしたちの暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の豊かさや便利さを新素材や情報技術など化学技術の進歩による成果として考えることができる。 科学技術と環境の関わりについて自らの考えを表現できる。 日常生活で利用されている、材料や情報技術の進歩について理解し、知識を身につけている。 	観点2 観点3 観点4
自然の災害と恩恵	<ul style="list-style-type: none"> 自然の災害や恩恵について調べ、多目的・総合的にとらえ、自然と人間の関わり方について考察できる。 自然の災害や恩恵に関心を持ち、調べたり、調査し、レポートをまとめることができる。 自然災害とその原因を知り、人間がどのように関わってきたか理解することができる。 人間は自然の恩恵を受け生活していることを理解することができる。 	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

3年 英語科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	英語に関心をもち、コミュニケーションを図ろうとする。	○授業に取り組む態度（発表や質問など） ○ペアワーク・グループワークでの取り組み ○課題の提出状況
2	英語を用いて、自分の考えや気持ちなど、伝えたいことを話したり書いたりして表現する。	○定期テスト、小テスト ○授業での発表内容
3	英語を聞いたり読んだりして、相手が伝えようとすることを理解する。	○定期テスト、小テスト ○授業での発表内容
4	英語に関する幅広い知識を身につけている。	○定期テスト、小テスト ○授業での発表内容

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
受動態（過去）	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態の文の表現を用いて、的確に表現できる。 ・受動態の文の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・受動態の文の用法を正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4
現在完了	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な状況で正しく現在完了の完了用法・継続用法・経験用法を用いて表現できる。 ・現在完了の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・現在完了の言語形式について正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4
形式主語 It	<ul style="list-style-type: none"> ・It is ～ for 十人 to 不定詞の表現を用いて、的確に表現できる。 ・It is ～ for 十人 to 不定詞の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・It is ～ for 十人 to 不定詞の用法を正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4
SVO（疑問詞+to 不定詞） SVOO（to 不定詞）	<ul style="list-style-type: none"> ・SVO(疑問詞+to 不定詞)，SVO(人)O(to 不定詞)の文型を状況に応じて適切に運用できる。 ・SVO(疑問詞+to 不定詞)，SVO(人)O(to 不定詞)の文型の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・SVO(疑問詞+to 不定詞)，SVO(人)O(to 不定詞)の文型の用法を正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4
SVOC	<ul style="list-style-type: none"> ・SVOCの文の表現を用いて、的確に表現できる。 ・SVOCの文の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・SVOCの文の用法を正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4
間接疑問文	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文の表現を用いて、的確に表現できる。 ・間接疑問文の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・間接疑問文の文の用法を正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4
後置修飾 (現在分詞，過去分詞)	<ul style="list-style-type: none"> ・後置修飾の文の表現を用いて、的確に表現できる。 ・後置修飾の文の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・後置修飾の文の用法を正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4
関係代名詞 (主格 who, Which, that) (目的格 which, that)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の文の表現を用いて、的確に表現できる。 ・関係代名詞の文の表現を含んだ情報を正しく理解できる。 ・関係代名詞の文の用法を正しく理解している。 	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

3年 音楽科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	音楽に親しみ、音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	○授業に取り組む態度（発表や主体的な練習など） ○課題（プリント、ノート、作品など）の提出状況
2	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	○定期テスト、実技テスト、作品 ○学習プリントの内容 ○練習過程
3	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	○定期テスト、実技テスト、作品 ○練習過程
4	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、よさや美しさを味わって聴いている。	○定期テスト ○課題（学習プリント）や発表の内容

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
A 表現・歌唱 斉唱・重唱・合唱 愛唱歌 日本の名曲 合唱曲・外国曲	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌おうとしている。 曲趣に応じた発声や言葉の特性を理解して、生かして歌おうとしている。 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら歌っている。 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解している。 	観点1
	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	観点2
	<ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。 	観点3
A 表現・器楽 リコーダー 器楽 アンサンブル活動	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しようとしている。 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏している。 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら演奏している。 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解している。 	観点1
	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 	観点2
	<ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて演奏している。 	観点3
A 表現・創作 著作権 社会と音楽	<ul style="list-style-type: none"> 言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくらうとしている。 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくらうとしている。 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解している。 	観点1
	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽表現を工夫し、どのように創作するかについて思いをもっている。 	観点2
	<ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくっている。 	観点4
B 鑑賞 ブルタヴァ 日本の伝統音楽 ポピュラー音楽 ミュージカル音楽 音楽の歴史	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わり、音楽の特徴や背景、音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に意欲的に取り組もうとしている。 	観点1
	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わっている。 音楽の特徴をその背景となる文化や歴史や他の芸術と関連づけて鑑賞している。 日本や郷土の伝統音楽や諸外国の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り鑑賞している。 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 	観点4

3年 美術科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	進んで美術に親しみ、想像の喜びを味わおうとする。	○制作に取り組む姿勢、日常の学習活動 ○提出物(ワークシート等) ○使用する道具の有無(忘れ物はないか)
2	感じたことや考えたことから想像力を働かせて発想し、表現の構想をする。	○制作した作品及び下書き、アイデアスケッチ ○日常の学習活動
3	基礎的技能を身につけ、その技能を高めたり新しい表現方法を試みたりする。	○制作した作品及び下書き、アイデアスケッチ ○日常の学習活動
4	自然、美術作品、身近な造形などのもつよさや美しさを、感じ取ったり味わったりする。	○鑑賞カード等のワークシート ○発言、発表

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
絵画 (水彩風景画)	・遠近法を知り、奥行き表現を自分の画面構成に取り入れて、スケッチができる。色合いを考え、混色を工夫して着色に取り組むことができる。	観点2
	・透視図や色彩を生かした効果的な空間表現と、自分なりの観察に基づいた描画を実践することができる。	観点3
	・自他の作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わうことができる。	観点4
工芸 (篆刻)	・自分らしい印面のデザインを構想したり、素材の感触を味わいながら、持ち手部分の彫刻をすることができる。	観点2
	・適切に彫刻刀を使い、印面の正確な彫りや持ち手の立体的な表現をすることができる。	観点3
	・自他の作品を鑑賞し、作品の工夫やよさ・美しさを感じ取ることができる。	観点4
デザイン (漫画表現)	・ストーリーや画面構成を工夫して、自分らしい4コマ漫画を発想することができる。	観点2
	・これまでに習得した技術を活用し、効果的な表現をすることができる。	観点3
	・自他の作品を鑑賞し、作品の工夫やのよさを味わうことができる。	観点4
工芸 (焼き物)	・使いやすさと美しさを兼ねた自分らしいカップの造形を発想することができる。	観点2
	・粘土の感触を感じ取りながら発想を広げ、たたらづくりによるカップの造形に取り組むことができる。	観点3
	・自他の作品を鑑賞し、機能美やよさ、作者のその人らしさを発見することができる。	観点4
基礎表現 (クロッキー)	・画面構成を考えて構図をとり、描画に取り組むことができる。	観点2
	・対象の形の流れを捉え、的確に描画することができる。	観点3
鑑賞	・作品の特徴を画面構成や作者の気持ち、つくられた環境なども想像して、味わうことができる。	観点4

(観点1は日常の学習活動・提出物により評価します。)

3年 保健体育科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	進んで運動し、その楽しさや喜びを味わい、意欲的に学習に取り組もうとする。	○出欠席・見学の状況・服装 (確認) ○意欲・積極性・準備・後片付け (観察・自己評価カード)
2	自分の能力に適した運動の課題解決を目指して、よりよく判断し、活動の仕方を考え工夫している。	○課題の把握 (確認・自己評価カード) ○練習方法や場の工夫・他人へのアドバイス (観察・自己評価カード)
3	運動の特性に応じた技能や、体力を高めるためにふさわしい運動の行い方を身につけている。	○技能の向上・定着 (観察・自己評価カード)
4	運動の意義や特性と健康安全について理解し、知識を身につけている。	○ルールを理解 (観察・小テスト・レポート) ○安全の確保 (観察・自己評価カード) ○学び方の理解 (観察)

2 3学年の学習内容と観点別の目標

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のため、工夫して練習することができる。 ・基本的動作を正確に行うことができる。 ・運動の方法を理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・練習方法や競技の仕方を工夫している。 ・技能を向上させ、記録を高めることができる。 ・ルールや正しい計測の仕方について理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
器械運動 (領域選択)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のため、工夫して練習することができる。 ・基本的な技能を高めることができる。 ・安全に行動することについて理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
球技 (種目選択)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のため、工夫して練習することができる。 ・基本的な技能を高め、練習やゲームで生かすことができる。 ・ルールや審判の仕方について理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
武道 (領域選択)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のため、工夫して練習することができる。 ・基本的な動作や技能を身につけることができる。 ・伝統的な行動の仕方を理解することができる。 	観点2 観点3 観点4
ダンス (領域選択)	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のため、工夫して練習することができる。 ・基本的な技能やステップを身につけることができる。 ・特有のステップを理解することができる。 	観点2 観点3 観点4

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

3年 技術・家庭科の学習内容と観点別の目標・評価の方法

1 評価の観点と方法

観 点 (通知票の項目)		評 価 の 方 法
1	生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。	○授業に取り組む態度 (発表や実習への取り組み) ○課題 (ノート・ファイル・レポート・作品) の提出状況
2	生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	○定期テスト, 実技テスト, 小テスト ○製作した作品 ○授業での発表内容 ○ノート・プリントの記述内容
3	生活に必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	○実習での作業内容 ○製作した作品
4	生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。	○定期テスト, 実技テスト, 小テスト, プリント ○授業での発表内容 ○製作した作品

2 3学年の学習内容と観点別の目標

<技術分野>

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
B エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットの機能を考え、構想をシミュレーションできる。 ・ロボットの形状や構成に就いてよりよいものを作り出すことができる。 	観点2
D 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを作成し、画面上のロボットをコントロールすることができる。 ・プログラムを作成し、モーターロボットをコントロールすることができる。 ・プログラムの構成について説明できる。 	観点3 観点4

<家庭分野>

内 容	観 点 別 の 目 標	観 点
B 食生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材を生かした日常食の調理を生かして地域の食文化を知り、食生活をよりよくしようとする。 	観点3 観点4
C 衣生活・住生活と自立	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な布を用いて補修の技術を生かした小物の製作を通して、生活を豊かにする工夫ができる。 	観点2 観点3

(観点1は日常の学習活動により評価します。)

学習の振り返り

～前期中間を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

前期期末に向けて

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>

学習の振り返り

～前期期末を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

後期中間に向けて

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>

学習の振り返り

～後期中間を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

後期期末に向けて

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>

学習の振り返り

～後期期末を終えて～

テストを終え、各観点について「学習の手引き」を見ながら自己評価をしてみよう！

教科名	観点1	観点2	観点3	観点4	観点5
国語					
社会					
数学					
理科					
英語					
音楽					
美術					
保健体育					
技術・家庭科					

自己評価：A とてもよくがんばった！ B だいたいできた C まだまだ努力が必要！

1年間を振り返って

<引き続き頑張りたいこと・見直して改善したいこと>